

ひがしの子

令和3年11月2日

岐阜市立岐阜東幼稚園

園長 藤井 佐由美

朝夕は、ぐっと冷え込むようになりましたね。とうとう我が家には石油ストーブが登場しました。日中は、暖かで過ごしやすい日が続いています。子どもたちは、戸外でドッジボールや転がしドッジボールをしたり、ごちそうを作ってお店屋さんをしたり、木の実を使って転がし遊びをしたり、秋の虫やさなぎに夢中になったりして遊んでいます。毎日、園庭や保育室に響く子どもたちの歓声がにぎやかです。1学期に比べて、友達との関わりもぐんと増え、更に楽しくなったり、ぶつかり合ってネガティブな経験を積んだりしています。



10月22日(金)には、第2回家庭教育学級が開催されました。19名の保護者の参加があり、岐阜市教育委員会教育長 水川 和彦先生の講演会をお聞きすることができました。子どもたちの未来の話や、これからの子どもちに必要な力などを、教えていただきました。映画の世界の中のことと思っていたことが、既に現実となっていることがたくさんあります。やはり、自分で考え行動する力やクリエイティブに創り出す力など、今まで通り大切に育んでいきたいと思いました。

準備から片付けまでお世話していただきました会員研修の役員さん、本当にありがとうございました。

10月29日(金)には、バザーがありました。昨年度は実施できなかったバザーでしたが、今年度は、在園児のみの保護者の間で温かな雰囲気の中で実施できました。文化委員の方をはじめ、本部役員さん、その他手作り品を提供して下さった方などお手伝いくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

同日、子どもたちのかわいいお店屋さんもオープンしました。予備分として育てている畑のホウレンソウが大きくなったからと言って、園務員の大友先生から分けていただきました。この頃、たいよう組が、園庭でも保育室でも、お店屋さんごっこを楽しんでいる様子が見られたので、ちょうどよい機会であると思い、たいよう組バザーを行いました。たくさんのお母さん方に買っていただきました。ご協力ありがとうございました。かわいい売り子さんで



したね。お客さんに「いくつ買えるの？」と聞かれ、机に並んでいるハウレンソウの数とお客さんの数をしばらく見比べて、「ひとり2つまでです。」と答えていました。状況を確認して、自分で判断し答える姿に、『そうそう、こういう力を大切に育てているんだよね…』と思いました。

《11月の保育について》

【3歳児】

<ねらい>

○秋の草の実や木の実を集めたり、使ったりして、自然物に興味をもつ。

○好きな遊びの中で、友達と“一緒”を楽しみながら自分の思いを自分なりの言葉で表す。

自分のやりたい遊びが増えて、いろいろやってみようとする時期です。

その中に秋の自然物をたくさん取り入れる姿が見られるようになります。

友達と“一緒”がよくて、心を合わせて遊ぶことが楽しいという思いが高まり、友達と誘い合って、同じ場で遊ぶことが増えてきます。

反面、一人の世界でゆっくり遊びたいと思っている子もいます。しかしこの時期の一人遊びは入園当初とは違い、一人で遊びながらも周りの子の様子を感じています。

年中児や年長児のしていることが身近に感じられるようになり、関心をもったり、真似をしたりすることもあります。

気の合う友達のつながりができてくる一方、ときには

は友達の仲間入りを拒んだり、遊具や道具を取り合ったりもします。“一緒に遊ぶ”からこそ、様々な思いのすれ違いもありますので、そんなときには、互いの思いを教師が代弁し橋渡しをしていきます。またときには、集団遊びを提案し、いろいろな友達とかかわる機会を作っていきたいと思います。

【4歳児】

<ねらい>

○自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら遊びを楽しむ。

○いろいろな素材や方法を取り入れ、自分なりに工夫して遊ぶ。



仲良しの友達や一緒に遊ぶ子への仲間意識が強くなり、互いに助け合ったり、ときには言い合ったりします。ごっこ遊びでは、イメージを共有できるようになり、互いに受け入れたり譲ったりする姿も見られるようになります。

引越し鬼や氷鬼など簡単鬼ごっこを、教師がいなくても自分たちで始める姿も見られるようになります。



自分の作りたい物には、どんな材料や素材が必要か、どのように作るとよいかなど考え、先に作るものをイメージして、材料を決めるような姿も出てきます。

子どもたちだけで、遊んでいるとき、子ども同士でかかわりをもっているときは、その成り行きを見守りながら、必要に応じて介入していくようにします。

環境を整備したり、材料や素材を準備したりして、自分たちで遊びを進められるようにしていきたいと思います。

【5歳児】

<ねらい>

○自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら遊びを進める。

○友達と誘い合って、みんなで遊ぶことの楽しさを味わう。



秋の自然物や木片を使って、友達と一緒に大きなものを作って遊んだり、体を使って遊んだりする中で、自分の思いや考えを表現したり、友達の思いや考えを聞いたりしながら楽しく遊ぶようになります。太陽の光が、低くなり保育室に差し込んでくるようになったことに気付いたり、電灯の光を使って、きれいな色を作るなど、多くの光遊びの中で、探究心を深めていきます。自分たちが大切に作った作品を、お客さんと呼んで売り買いごっこを楽しむ姿も盛ん

なってきます。その中で自分のイメージを膨らませたり、伝え合いながら共有する場面も増えてきます。

集団で、ドロケイやバナナ鬼、氷鬼、引っ越し鬼などの鬼ごっこやドッジボール、サッカーなどルールのある遊びを更に楽しむようになってきます。思いのぶつかり合いや困った場面では、みんなで話し合っ決めていこうとする姿も見られるようになります。

自分の意見を出しながら、相手の意見も聞いて遊びを進めたり、子どもたちのイメージを具体化したりできるよう援助していきたいと思います。

就学時健診で小学校へ行ったことをきっかけに、小学校を意識して行動する子も見られるようになります。小学校については、期待と不安が混在する時期です。「小学校は楽しいところ」という印象が付くように、遊びの中で「学ぶことの面白さ」を体験し、小学校への期待感が高まるようにしたいと思います。



11月の保育参加及び参観では、3歳児は、親子で「大根引き」などの集団遊びをして遊びます。4歳児は、転がしドッジボール「親子対決」があります。5歳児は、ドッジボール「親子対決」です。特に、5歳児は、ほぼ毎日楽しんで活動する中で、投げる力も逃げる力も受け取る力も強くなってきています。ルールもいろいろ作られていますので、保護者の方も、体を鍛えてお越しください。楽しみにしててくださいね。